



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社2019年3月期の事業の概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 高橋 泰行

当期の経営成績

当期におきましては、売上高、利益ともに増収増益を達成することができました。また、レストラン事業では、増収とともに6期ぶりに黒字へと転換し、収益改善を図ることができました。

食品業界および外食業界におきましては、消費者の根強い

低価格志向などの生活防衛意識が強まる中で企業間競争も激化し、商品に対する品質や安全・安心を求める選別消費の傾向が強まり、また、自然災害の影響もあるなど、引き続き厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさ」と「健康」

を追求した高付加価値商品のご提供や、消費者のニーズの多様化への対応をとおして、ブランド価値の向上に努めてまいりました。食品事業では、新商品やリブランディング商品の

積極的な販売を行い、またレストラン事業では、新たなメニュー戦略やサービスの強化を行いました。当期の経営成績につきましては、下段の財務ハイライトのとおりです。

今後の見通し

食品事業におきましては、主力ドレッシングである280mlシリーズの選択と集中の方針のもと、商品の絞込みを行い、ブランド力の強化を図るとともに、販売好調である「おうちパスタ」シリーズを含むパスタ関連商品の販売を引き続き強化してまいります。また、今後成長が見込める冷凍商品では、店頭販売と通信販売を並行してブランドの強化を行い、市場の開拓を行ってまいります。

レストラン事業におきましては、「味」、「サービス」、「雰囲気」を磨き、お客様満足度の向上を図ってまいります。また、厳しい環境が予想される消費税率の引き上げでは、価格戦略ではなく、質の高いサービスの提供を行うことで順応し、深

刻化する人手不足では、働きやすい職場環境づくりやスタッフのモチベーションアップを図り、人が集まる店舗づくりを目指してまいります。さらに新業態の開発を行い、さらなる成長戦略を実行してまいります。

以上の基本戦略を実施することにより、次期の業績につきましては、売上高は98億20百万円(前期比1.4%増)、営業利益は5億50百万円(前期比2.1%増)、経常利益は5億40百万円(前期比1.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3億円(前期比4.0%増)を予想しております。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり年間配当金 (単位:円)

